

公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和 5 年度事業計画

令和5年度事業方針	3
I 自主事業の企画制作	
1 公演事業	5
(1) 質の高い舞台芸術公演の招聘・創作	5
(2) 他劇場での再演	7
(3) ファミリー・プログラム	8
(4) ミニセレ ―Mini Theater Selection―	9
2 人材養成事業	11
3 普及啓発事業	12
4 アートキャラバン事業	14
II 広報・マーケティング、連携・交流	
1 広報・マーケティング	15
(1) 広報	15
(2) 販売促進	15
(3) 賛助会員制度	15
(4) 調査・研究	15
2 他団体との連携・交流	15
(1) 海外芸術交流事業	15
(2) 圏域の公立文化施設とのつながり	15
(3) 職員の派遣	16
III 愛知芸術文化センターの管理・運営	
1 芸術劇場及びアートスペース	16
2 アートプラザ	16
3 愛知芸術文化センター全体	16
(1) 施設管理	16
(2) 防火・防災	16
(3) 芸文センターの活性化	17
IV 収益事業	
1 ミュージアムショップ	17
2 プレイガイド	17

令和5年度事業方針

公益財団法人愛知県文化振興事業団（以下「事業団」という。）は、平成4年4月の設立以来、設立目的である個性豊かな地域文化の振興と世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、各種の文化事業を実施してまいりました。

また、平成26年度からは愛知芸術文化センターの指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場の運営等に携わっております。

現在は、「愛知県芸術劇場第2次中長期計画」（令和2年3月31日策定）及び平成30年度に文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択された「劇場による地域文化向上プロジェクト」に基づく以下の使命（ミッション）に取り組むことで設立目的の達成に努めているところです。

（使命（ミッション））

- 1 「みる」：優れた舞台芸術の鑑賞の場を提供する劇場
- 2 「つくる」：国内外に芸術文化を創造・発信する劇場
- 3 「ひろげる」：舞台芸術のすそ野を広げる劇場
- 4 「つなぐ・そだてる」：地域全体の文化力を高める劇場
- 5 「こたえる・ささえる」：地域の課題に応える劇場

これらミッションを遂行するため、令和5年度におきましても、全国トップクラスの機能を備えた劇場を活用し、国内外の優れた舞台芸術を鑑賞する場を幅広く提供いたします。

また、国内外から高い評価を得ている勅使川原三郎芸術監督のもと、創造性・発信性に満ちた多彩な舞台芸術公演を行うとともに、舞台芸術を担う人材の養成や、「劇場と子ども7万人プロジェクト」として次代を担う子どもたちに劇場の楽しさに触れてもらう普及啓発などに取り組めます。

さらに、県内外（国外含む）の劇場との連携によるツアー公演や、地域の文化施設や商業施設等と連携する「久屋ぐるっとアート」などを展開して地域文化の振興を図るほか、障がいのある方や在住外国人など劇場に来場しづらい方向けのワークショップ等を開催するなど、社会課題の解決に向けた取組みも実施いたします。

事業団が実施する自主事業につきましては、地元企業様をはじめ、様々な団体・個人からの御協力をいただいておりますが、令和3年度からは新たに賛助会員制度を立ち上げ、文化振興を通じての地元企業様等とのさらなる関係強化を推進しております。今後とも当制度を継続実施し、関係強化に努めてまいります。

令和5年度は第二期指定管理（令和元年度～5年度）の最終年度にあたりますが、引き続き、お客様・ご利用者様の目線に立ち、安心・安全かつ快適な環境づくりとサービスの向上に努めるとともに質の高い舞台芸術公演を実施することで、次期指定管理の指定を目指してまいります。

なお、芸術劇場については、エレベーター改修による休館期間が3か月程度生じます。これまで周知を行ってきたところですが、利用者様のご理解・ご協力を得られるよう、引き続き丁寧な周知を図ってまいります。

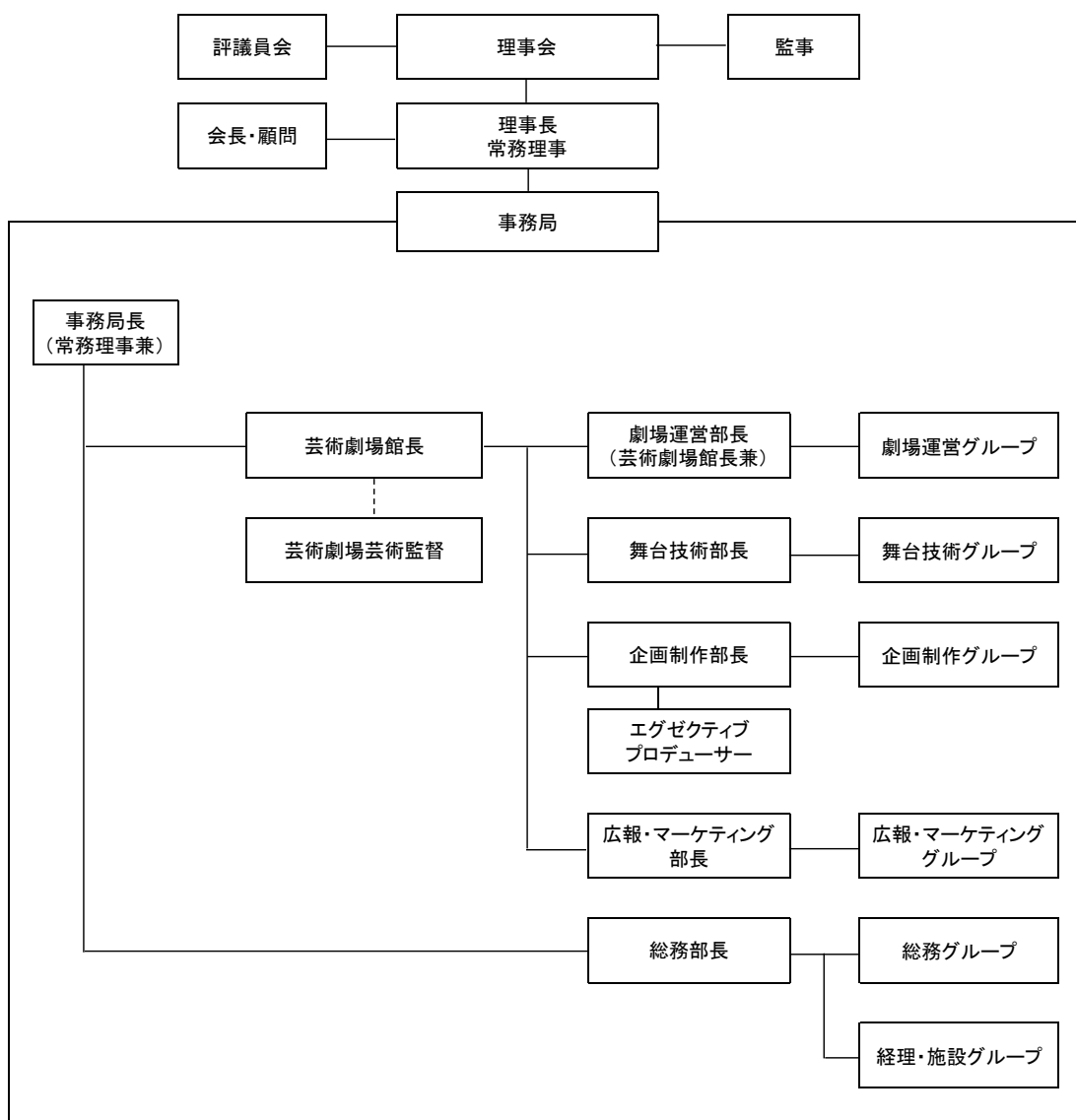
<改修休館期間>

小ホール：令和5年12月1日（金）～令和6年3月31日（日）

大ホール、コンサートホール、大・中リハーサル室：令和6年1月4日（木）～3月31日（日）

●組織体制

(1) 令和5年度組織体制



(2) 職員数

常勤役員	2名
職員	34名
嘱託員	10名
計	46名

I 自主事業の企画制作

文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」の「愛知ならでは」の文化的環境創造プロジェクト～「ものづくり」愛知発の「人づくり」～（申請中）に基づき、当館プロデュースによる新作の創造発信に取り組むとともに、国内外のアーティストによる多彩で質の高い舞台芸術公演を県民に提供します。

併せて、ゴールデンウィークと夏休みに事業を集中的に開催する「ファミリー・プログラム」や小ホールにおいて先駆的・実験的な作品を通年で上演する「ミニセレ」を実施いたします。

また、舞台芸術に関わる人材の養成や舞台芸術への関心を高めるための普及啓発にも引き続き力を入れ、芸術文化のすそ野の拡大を図ります。とりわけ普及啓発においては、子どもたちを劇場に招待し、質の高い舞台芸術に触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」を継続してまいります。

なお、各事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮してまいります。

1 公演事業

(1) 質の高い舞台芸術公演の招聘・創作

3つのホールを活用し、愛知県芸術劇場ならではの卓越したダンス公演やコンサート、初級者からも楽しめる良質なオルガン公演などを実施します。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
キッドピボット KIDD PIVOT 『リヴァイザー／検察官』	5月19日(金) (1公演)	大ホール
	コンテンポラリー・ダンスの最高峰、カナダの振付家 クリスタル・パイトが率いるカンパニー「キッドピボット」の初来日公演。数々の賞を受賞し現在最も注目を浴びているパイトによる、代表作かつ最新作を上演します。	
オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～ オルガン：石丸由佳	6月23日(金) (2公演)	コンサートホール
	1時間1,000円の名曲によるコンサート。実力派オルガニストでCDも数多くリリースし、高い評価を得ている石丸由佳が登場します。	
愛知県芸術劇場芸術監督 勅使川原三郎新作ダンス公演『ワルツ』 振付・演出・装置・照明・衣装：勅使川原三郎 アーティストックコラボレーター：佐東利穂子 出演：勅使川原三郎、佐東利穂子、ハビエル ア ラ サウコ	7月16日(日) 17日(月・祝) (2公演)	大ホール
	2022年世界のダンスに名を刻んだ勅使川原芸術監督プロデュース作品。アーティストックコラボレーターでダンサーの佐東利穂子と期待の新人、ハビエル アラ サウコを迎え、大ホールの空間を生かし、照明や美術などが融合した2023年期待の創作ダンス公演です。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
NHK 交響楽団定期演奏会 （愛知県芸術劇場シリーズ） 指揮：トン・コープマン フルート：神田寛明	9月23日（土） （1公演）	コンサートホール
	日本を代表するオーケストラの定期演奏会です。古楽界の巨匠トン・コープマンによるオール・モーツァルトプログラムを、世界が認めるサウンドでお楽しみいただきます。	
オルガン・プレミアム・アワー オルガン：マティアス・マイヤーホーファー	9月27日（水） （2公演）	コンサートホール
	オーストリアの世界的なオルガニストが奏でるプレミアムなコンサート（1時間）。名曲を堪能いただきます。	
新国立劇場バレエ団公演 『ドン・キホーテ』	11月3日（金・祝） 4日（土） （2公演）	大ホール
	日本を代表する新国立劇場バレエ団による愛知県初のグランドバレエ公演。同バレエ団が初期から上演している代表的な演目でバレエファンなら誰もがよく知っている古典バレエ作品『ドン・キホーテ』を上演します。	
愛知県立芸術大学管弦楽団 第34回定期演奏会 指揮：尾高忠明 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団 （愛知県立芸術大学と共催）	11月19日（日） （1公演）	コンサートホール
	東海地方唯一で全国的にも数少ない公立芸術大学のオーケストラによる定期演奏会を開催します。指揮は、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督の尾高忠明が務めます。	
クリスマスはオルガンだ！2023 オルガン：新山恵理 オーボエ：杉本真木	12月15日（金） 16日（土） （2公演）	コンサートホール
	恒例のクリスマス・オルガンコンサート。この時期にふさわしい曲目や、演奏者の手元や足元を大型スクリーンに投影する演出が人気を集めています。今年はオーボエとの共演も見どころです。	
8事業		

(2) 他劇場での再演

愛知県芸術劇場発のプロデュース作品を広く届けるための再演ツアーを行います。

事業名	開催日	会場	主催等
	事業概要		
愛知県芸術劇場 & Dance Base Yokohama DaBY ダンスプロジェクト 『Rain』 原作：サマセット・モーム「雨」 演出・振付：鈴木竜 美術：大巻伸嗣 音楽：evala 主演：米沢唯、中川賢、ほか * 香港文化センターでの主演は現地ダンサー	8月4日(金) ～6日(日)	新国立劇場	Dance Base Yokohama、 愛知県芸術劇場
	8月18日(金)	幸田町民会館さくらホール	幸田町教育委員会、 愛知県芸術劇場
	8月27日(日)	北九州芸術劇場	北九州芸術劇場
	11月10日(金) ～12日(日)	香港文化センター	ニュービジョン・アート・フェスティバル
	当館と DaBY の共同企画によるプロジェクトによって創作・初演した『Rain』(2023年3月初演)の再演ツアー。当劇場スタッフのプロデュース及び技術コーディネートののもと、県内劇場を含め、国内外で再演します。(全9公演)		
愛知県芸術劇場 & Dance Base Yokohama 「パフォーミングアーツ・セレクション」(仮称)	9月7日(木)	高崎芸術劇場	高崎芸術劇場
	9月30日(土)	高槻城公園芸術文化劇場	高槻城公園芸術文化劇場
	愛知県芸術劇場が創作・初演した作品の中から、当劇場スタッフのプロデュース及び技術コーディネートののもと、プログラムを組んで再演します。(全3公演)		
ダンスとラップ『ありか』 振付・出演：島地保武 音楽・出演：環ROY	2月10日(土) 11日(日)	北九州芸術劇場	北九州芸術劇場
	愛知県芸術劇場が2016年に創作・初演後、国内外で9会場、計22回の再演を行ってきた『ありか』を、当劇場スタッフのプロデュース及び技術コーディネートののもと、コロナ禍以降初めて再演します。(全2公演)		
『鮭なら死んでるひよこたち』	2月16日(金) 17日(土)	なみきスクエア(千早音楽・演劇練習場大練習室)(福岡県)	指輪ホテル・福岡きびる舞台芸術祭「キビるフェス」・愛知県芸術劇場 ※福岡きびる舞台芸術祭「キビるフェス」公演。
	2月22日(木) 23日(金)	生活支援型文化施設コンカリーニョ(北海道)	指輪ホテル・北海道文化財団・愛知県芸術劇場 ※北海道戯曲賞との連携公演。
	愛知県芸術劇場が創作・初演した作品を再演します。(全4公演)		
4 事業			

(3) ファミリー・プログラム

ゴールデンウィークや夏休みに開催する、家族のためのフェスティバルです。舞台芸術の持つ様々な魅力を、子どもから大人まで世代を越えて楽しめるプログラムを実施し、劇場全体を楽しくにぎやかな場所にします。



事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
愛知県芸術劇場 オープンハウス	4月29日(土・祝)	コンサートホール 小ホール
	<p>小さなお子様から年配の方まで、より多くの方に劇場をより身近に感じていただくためにコンサートホールの舞台や客席、ホワイエ、ビュッフェなどを自由に見学いただけるイベントです。愛知県芸術劇場オルガニスト養成事業の受講生によるミニコンサートも開催します。小ホールでは、同様の自由見学を開催するほか、当劇場のアーティスト人材養成事業「舞台芸術ワークショップファシリテーター・コーディネーター養成プログラム(広場ラボ)」受講者が中心となってナビゲーターを務める参加型イベントを開催します。</p>	
THE オルガン NIGHT&DAY 2023 オルガン：都築由理江 (愛知県芸術劇場オルガニスト)	5月2日(火) 3日(水・祝) (3公演)	コンサートホール
	<p>「短めのプログラム」「出かけやすい時間」「ワンコイン」と手軽にパイプオルガンを楽しんでいただけるコンサートです。終演後、大人向けのNIGHTと小学生を含めた家族向けのDAYでは「オルガン耳より講座」を開催します。</p>	
音楽ワークショップ おもしろいコトをやろう！ ファシリテーター：八木美知依	7月20日(木) 21日(金) (2日で1回)	大リハーサル室
	<p>小学生向けの箏による音楽ワークショップです。</p>	
『子犬のバーニー -幸せを探して-』 製作・出演：ザ・ラスト・グレート・ハント	7月25日(火) ~27日(木) (6公演)	小ホール
	7月29日(土) ~8月13日(日)	県内ツアー(7箇所)
	<p>パース(オーストラリア)の劇団を招聘し県内巡回公演を行います。パペット(人形)とアニメーション映像をミックスした美しく楽しい演出で、子どもたちを舞台の世界にいざないます。</p>	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
ダンス・ワークショップ ファシリテーター：プロジェクト大山	8月10日(木) (1回)	大リハーサル室
	小学生向けのダンス・ワークショップです。	
赤ちゃんと踊ろう ファシリテーター：プロジェクト大山	8月10日(木) 11日(金・祝) (3回)	大リハーサル室
	赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流できるダンス・ワークショップです。	
人形劇団プーク×ブルガリア・ソフィア人形劇場 『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』 (愛知人形劇センターと共催)	8月14日(月) 15日(火) (2公演)	小ホール
	8月11日(金)	県内ツアー（1箇所）
	日本の人形劇団プークとブルガリアのソフィア人形劇場が共同制作した、希望と旅立ちの物語を上演します。	
げきじょうたんけんツアー	8月24日(木) (4回)	大ホール
	小学校低学年を対象にして、劇場運営スタッフ扮する探検隊と一緒に大ホールの裏側をめぐるツアーを行います。普段は見るできない劇場の裏側を見学できる体験学習です。	
8事業		

(4) ミニセレ —Mini Theater Selection—

小ホールの特徴を活かして、先駆的・実験的な作品を上演するシリーズです。令和5年度は、創作に力を入れ、音楽、ダンス、演劇など、様々な領域を横断する作品を、創作・上演し、新しい芸術への興味を促進し新たな劇場ファン層を広げます。



事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
笠井 叡×平山素子 J. S. バッハ作曲「フーガの技法」を踊る ダンス：笠井 叡、平山素子 ピアノ：片山 柊	6月15日(木) 16日(金) (2公演)	小ホール
	笠井 叡 振付による、平山素子と笠井 叡のデュオを音楽のライブ演奏にて上演します。ダンスと音楽が一体となってバッハの最高傑作「フーガの技法」をお楽しみいただきます。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
愛知県芸術劇場&Dance Base Yokohama パフォーミング・アーツセレクション 2023 演目① 演出・振付：イリ・ポコルニ 出演：DaBY ダンサーズ、イリ・ポコルニ 演目② 演出・振付・出演：島地保武、環 ROY 音楽：環 ROY 演目③ 演出・振付・出演：柿崎麻莉子、アリス・ゴッドフライ	9月16日(土) 17日(日) (3公演)	小ホール
	当劇場と Dance Base Yokoahama (DaBY) との共同企画で、国内外のダンス界を牽引するダンスアーティストによる新作を初演。2022-23 年度に DaBY でレジデンスを行った作品のうち、3 作品を特別セレクションとして上演します。	
サウンドパフォーマンス・プラットフォーム特別公演 安野太郎 ゾンビ音楽 『大霊廟 Beyond』	10月14日(土) 15日(日) (3公演)	小ホール
	音の新たな表現にチャレンジする実験的なライブ・パフォーマンスを上演してきたサウンドパフォーマンス・プラットフォームの特別公演として、作曲家の安野太郎による、現代社会に直結するテーマを掲げる「大霊廟」シリーズの新作を上演します。	
ヌトミック+細井美裕 マルチチャンネルスピーカーと身体のための演劇作品	10月27日(金) ~29日(日) (公演回数未定)	小ホール
	AAF 戯曲賞受賞作家・額田大志率いる劇団「ヌトミック」と音響インスタレーション作家細井美裕のコラボレーション作品第二弾。デジタル技術を駆使したマルチチャンネルスピーカーの作る音響空間の中で、身体的な感覚を刺激するパフォーマンスを行います。	
第 21 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演 『鮭なら死んでるひよこたち』 作：守安久二子 演出：羊屋白玉	11月24日(金) ~26日(日)	小ホール
	第 21 回 AAF 戯曲賞受賞作品『鮭なら死んでるひよこたち』を、AAF 戯曲賞審査員でもある羊屋白玉の演出により上演します。	
5 事業		

2 人材養成事業

若手芸術家に作品発表の場を提供するほか、アーティスト人材の養成プログラムを継続的に行います。また、地域の劇場や大学等と連携して、学生インターンシップから職員セミナーまで様々なプログラムを実施し、舞台芸術を担う人材を養成します。

事業名	開催日	会場
	事業概要	
愛公文セミナー (愛知県公立文化施設協議会と共催)	7月28日(金) 9月15日(金) 10月19日(木) (3回)	アールスペース A
	ホール新任職員向けのセミナーを愛知県公立文化施設協議会と共催で開催します。	
第23回AAF戯曲賞募集・選考	募集開始:6月 最終審査会:12月(予定)	アールスペース A
	2000年から続く「上演を前提とした戯曲賞」です。大賞受賞作品は、次年度以降に当劇場のプロデュース公演として上演します。	
アーティスト人材養成事業	①合唱団養成プログラム 愛知県芸術劇場合唱団訓練	通年実施 リハーサル室 ほか
	②オルガニスト養成プログラム	アーティスト人材養成のための講座やワークショップを実施します。
	③振付家・ダンサー養成プログラム	
	④舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラム(広場ラボ)	
舞台芸術人材養成ラボ	①舞台芸術インターンシップ	通年実施 大ホールほか
	②学生インターンシップ &舞台芸術お仕事ナビ	人材養成プログラムを系統立てて実施します。
	③劇場職員セミナー	
	④舞台芸術ワークショップコーディネーターセミナー(広場ラボ)	
10事業		

3 普及啓発事業

次代を担う子どもたちを劇場に招待し、舞台芸術の魅力や劇場の楽しさに触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」として、学校招待公演等を他市町村・劇場との連携で実施します。また、普及啓発事業を系統立てて実施し、劇場に来づらい方への取組み等も実施します。

事業名		開催日	会場
		事業概要	
劇場と子ども7万人プロジェクト	舞台芸術鑑賞教室 小学生のためのコンサート 『たいようオルガン』 オルガン：石丸由佳 ソプラノ：小林沙羅	5月26日(金) (2公演)	コンサートホール
	【再掲】 人気絵本『たいようオルガン(作：荒井良二)』の鮮やかな原画をスクリーンに映しながら、名古屋出身で国際的に活躍する作曲家・野村誠の音楽とともに進行するコンサート。水戸芸術館が2021年に製作。県内の小学校低学年の児童を学校単位で招待します。	5月19日(金) (1公演)	大ホール
	【再掲】 オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～	6月23日(金) (2公演)	コンサートホール
	【再掲】 愛知県芸術劇場&Dance Base Yokohama DaBY ダンスプロジェクト『Rain』	8月18日(金)	幸田町民会館さくらホール
	【再掲】 オルガン・プレミアム・アワー	9月27日(水) (2公演)	コンサートホール
	【再掲】 クリスマスはオルガンだ！2023	12月15日(金) 16日(土) (2公演)	コンサートホール
			上記の再掲5公演に、県内の小学生・中学生・高校生を個人単位で招待します。
栄北まちなか展開連携事業 『久屋ぐるっとアート2023』		11月2日(木) ～5日(日)	オアシス21ほか
		オアシス21や名古屋テレビ塔など、栄北地域の約20の文化施設や商業施設等と連携し、アートを気軽に楽しめるミニフェスティバルを開催します。	
愛知芸術文化センター活性化プログラム		1～3月	フォーラム等
		愛知県芸術劇場休館中に、フォーラム等にてパフォーマンス等を行うことで、にぎわい創出につなげます。	

事業名	開催日	会場
	事業概要	
【高校生 ゲネプロ招待】 第 21 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演「鮭なら死んでる ひよこたち」 他	11 月 23 日 (木・祝)	小ホール
	舞台鑑賞の楽しみや創造することの面白さを知っていただくために、ゲネプロ（本番直前の最終リハーサル）に、高校生を招待します。	
【入門者のためのプログラム】	通年実施	未定
	初めて劇場に来る方にも舞台芸術に楽しみを見出していただけの講座等を開催します。	
【より深く楽しみたいファンを増やすためのプログラム】	通年実施	オンラインほか
	舞台芸術について理解を深め、より楽しんでいただける講座等を開催します。	
【乳幼児と保護者のためのプログラム】	時期未定	未定
	一緒にダンスを楽しむ機会を市町村劇場等と連携して設けるなど、小さなお子様とともに劇場に来ていただけるプログラムを行います。	
【在住外国人のためのプログラム】	時期未定	未定
	日本語を母語としない人にも舞台芸術を楽しみ、舞台芸術の力を通じて交流を深めていただくために、子どもと一緒に楽しめるワークショップ等を開催します。	
【障がい者及び劇場に来づらい人のためのサポート】 聴覚障がいのある方への日本語字幕 ヒアリングループ設置 視覚障がいのある方へのプログラムの事前PDF 配布 他	各公演日	各ホールほか
	多くのお客様に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、一部の公演で、障がいのある方を対象に観劇・鑑賞のためのサポートを行います。	
14 事業（うち再掲 5 事業）		

4 アートキャラバン事業

新型コロナウイルス感染拡大により甚大な被害を受けた文化芸術活動の回復を後押しするため、公益社団法人日本芸能実演団体協議会及びクリエイティブ・リンク・ナゴヤと連携して、文化庁「統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業（アートキャラバン2） 地域連携型」を実施します。

事業名	開催日	会場
	事業概要	
スタッフ人材養成事業（仮称）	7～12月頃（回数未定）	愛知・岐阜・三重県内
	圏域の劇場職員を対象に、「伝わりやすい日本語」を学ぶ連続講座を開催し、日本語を母国語としない人とのコミュニケーションのコツを知ってもらった上で、地域の外国人住民との交流を目的としたイベントを実施します。	
【ジャパン・ライブエールプロジェクト in CHUBU 2023】 久屋ぐるっとアート 2023 連携事業	11月2日(木)～5日(日) の期間内	Hisaya-odori Parkほか
	久屋（栄北）エリアの施設や団体が連携して行う参加型アートイベント『久屋ぐるっとアート 2023』と連携し、舞台系イベントを開催する他、プロジェクトマッピング等で空間演出し、ユニークベニューの活用と観光振興につなげます。	
アーティストのための制作講座（仮称）	7～1月頃	名古屋市内
	若手アーティストを対象に、芸術文化団体間のネットワーク構築やポストコロナを見据えた機能強化（デジタル技術の活用・SNSによる戦略的広報等）に長けた人材を育成するための連続講座を開催し、その成果発表としての公演を実施します。 （クリエイティブ・リンク・ナゴヤに再委託）	
観光振興プロジェクト（仮称）	11～1月頃	名古屋市内
	観光振興において文化芸術の活用に取り組むプロジェクト。観光事業者と協働しながら、実証的に観光ツアーを企画し、その中にライブ演奏等のパフォーマンスを織り込むなどして、文化体験ができる観光ツアーを実施します。 （クリエイティブ・リンク・ナゴヤに再委託）	
4事業		

Ⅱ 広報・マーケティング、連携・交流

1 広報・マーケティング

(1) 広報

芸文センターが実施する芸術文化事業を中心に、情報誌「AAC」やウェブサイト、SNSなどの各種媒体を通じて、芸術文化に関連する情報を提供します。

○ 情報誌「AAC」の発行

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化に関する情報等を掲載した情報誌を発行し、芸文センターの認知度・理解度の向上を図ります。

配布先：県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等
年4回発行（ウェブ版を含む）

○ 情報発信

ウェブサイトをはじめとして、Facebook・TwitterなどのSNS、YouTubeといった各種の媒体や仕組みの特性を生かし、劇場主催公演をはじめとした各イベントの情報を分かりやすくタイムリーに提供します。また、中部芸術文化記者クラブの事務局を担い、県内外の美術館等の情報発信を支援します。

(2) 販売促進

愛知県芸術劇場主催公演等について、オンラインチケットシステムや充実した特典を備えた会員制度の「愛知県芸術劇場メンバーズ」により、利便性の向上や収益の増加を図ります。

(3) 賛助会員制度

愛知県芸術劇場主催公演等について支援をいただくことにより、地域の企業等との関係を強化するとともに圏域の文化芸術のさらなる創造・発信につなげるため、ホームページ・パンフレット等を通じて賛助会員数の拡大を図ってまいります。

(4) 調査・研究

劇場及びアートスペース利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場等のニーズや課題を把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めます。また、自主事業の際には来場者アンケートを実施し、事業に対する評価や来場者属性を把握・分析し、自主事業の企画制作に反映させていきます。

2 他団体との連携・交流

(1) 海外芸術交流事業

「AAPPAC」（アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟）に引き続き加盟し、海外の劇場関係者との情報交換や人的交流、及び芸文センターの認知度向上を図ります。

(2) 圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修等を開催します。こうした人材養成の取り組みを足がかりに、愛知県内の劇場の強いネットワークを活かし、連携公演の実施や人材養成セミナーの開催など、様々な形での劇場間の連携を深めていきます。

(3)職員の派遣

市町村や大学、他団体等に専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営等のアドバイスを実施します。

Ⅲ 愛知芸術文化センターの管理・運営

1 芸術劇場及びアートスペース

愛知県芸術劇場各ホール、各リハーサル室の利用許可や利用打ち合わせ、技術面・安全面・運営面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供します。

また、その運営にあたっては、観客及び劇場利用者の方々へのホスピタリティ向上に努めます。

感染症対策については、国や県の方針に基づいてこれまでの規制を緩和してまいります。利用者には適切な情報提供や相談対応を通じて、安心して公演を実施していただけるよう努めます。

芸文センター12階及び地下2階のアートスペースについても、利用許可及び利用当日のサポート等を行います。様々な芸術文化活動の表現・交流の場として快適に利用していただけるよう努めます。

愛知県芸術劇場	アートスペース
大ホール (2,480 席) コンサートホール (1,800 席) 小ホール (330 席 (最大)) 大リハーサル室 中リハーサル室	A室～E・F室 (会議室利用) G室～I (X)室 (展示室利用)

2 アートプラザ

芸文センター地下2階のアートプラザにおいて、県内外の公演や展覧会等の情報を収集し、来館者に提供します。年齢に関わらず気軽に立ち寄っていただけるよう、丁寧なコミュニケーションに努めます。

3 愛知芸術文化センター全体

(1) 施設管理

施設の保守・維持管理については、事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、職員や委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行います。芸文センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応します。

(2) 防火・防災

防火・防災体制については、消防法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、引き続き防災プロジェクトチームによる組織横断的な活動を行うなど、職員の災害対応に係る意識、能力の継続的な向上を図ります。また、都市再生特別措置法に基づき、名古屋駅周辺・伏見・栄地域都市再生緊急整備協議会が令和4年3月に策定した「伏見・栄地区都市安全確保計画」に

において、芸文センターが「一時退避場所又は退避施設」として登録されたことから、発災時に速やかに開設・運用できるよう、「退避施設開設・運営マニュアル」を策定（令和4年7月）しました。今後も芸文センターの防火・防災対策とともに、地域の防災活動の円滑化にも貢献できるように努めてまいります。

（3）芸文センターの活性化

「愛知県芸術劇場オープンハウス」や「久屋ぐるっとアート」など、芸文センターのにぎわいを創出する事業を展開し、芸文センターの利用促進につなげてまいります。また、地下連絡通路など共有スペースに壁面広告等を掲出し、芸文センターの活性化を図ってまいります。

愛知県芸術劇場休館中には、フォーラム等にてパフォーマンス等を行うことで、にぎわい創出につなげます。

IV 収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行います。

1 ミュージアムショップ（芸文センター10階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせ、図録・絵はがき・オリジナルグッズ等の販売を行います。

2 プレイガイド

芸文センター地下2階アートプラザ内に設置されているプレイガイドにおいて、愛知県芸術劇場の主催公演をはじめ、近隣の劇場・音楽堂等で行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行います。